

経済消防常任委員会審査概要報告書

委員長 野上 達夫

- I 開催年月日 平成 29 年 7 月 12 日（水）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 15 分
III 出席委員等〔出席委員〕 ◎野上 達夫 ○藪中 一夫 永森 茂
曾田 康司 四十九清治 畠 起也
（◎…委員長、 ○…副委員長）
〔議長〕 ※曾田 康司議長は委員として出席
〔副議長〕 樋詰 和子
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 なし
〔事務局職員〕 敦賀 茂樹 安東 浩志 柚原 規泰
六土 幸拓
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった〉

〔産業振興部〕

- 平成 29 年度高岡市新分野開拓チャレンジ事業補助金（第一次公募）採択事業者及高岡市チャレンジ新商品認定事業者の決定について

〈 委員から次の質疑があった。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○、答弁内容は △ で表示）

【高岡市新分野開拓チャレンジ事業補助金について】

- 本事業に対する各企業からの具体的な補助金交付申請の状況は。
- △ 企業から各事業への申請は概ね上限額と同額であったが、地域資源活用事業支援

補助金については一部上限額を下回る申請があった。

- 補助金の交付決定件数が応募件数の8割を上回ることに對し、交付決定額は予算の6割程度に収まっている。企業には交付上限額まで有効に利用するように指導していくべきと考えるが、見解は。
- △ 今回の決定は一次公募の結果であり、一次公募で不認定や公募期限に間に合わなかった等の申請については年度後半の二次公募に申請をしてもらうよう呼びかけている。その際には補助金を上限額まで有効に利用するよう周知していく考えである。
- 1社で複数の事業において補助金の採択を受けている企業が見受けられる。市内の企業に對し本事業が広く周知されていないのではないかと考えるが、見解は。
- △ 「新技術・新製品開発等支援補助金」と「戦略的販路開拓事業支援補助金」については申請が重複しやすい内容であると考えている。今回は、新規に4社の企業に對し補助金の採択をされたが、今後も積極的に企業回りをを行い本事業の周知に努めてまいりたい。

[消防本部]

- ・平成29年1月～6月 火災と救急・救助の状況について

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【自治会に對する訓練及び講習会等の実施について】

- 各自治会に出向いての講習会等を年間どれほどの回数を実施しているか。
- △ 平成28年度は各自治会に出向いて実施した自主防災の訓練や講習会等は約150件である。

2 その他

- ・行政視察について

7月20日（木）から21日（金）に実施しすることが報告された。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

経済消防常任委員会 当局説明員（16名）

産業振興部長	福 田 直 之	消防長	澤 崎 茂
次長 商業雇用課長	山 村 淳 子	次長	寺 口 克 己
参事	宮 本 哲 哉	総務課長	広 田 一 徳
参事	館 下 徹	予防課長	牧 真
産業企画課長	末 坂 進	警防課長	田 川 裕 之
観光交流課長	長 谷 川 聡	通信指令課長	浦 島 章 浩
農業水産課長	有 栖 友 広		
農地林務課長	村 本 民 則		
みなと振興課長	須 田 稔 彦		
農業委員会事務局長	山 田 晃		